

日本の食品ロスをゼロに近づける

エクネス株式会社（鯖江市）

SDGsに貢献！

- ・フードロスの削減に挑戦する事業を展開
- ・売り手にも、買い手にも、環境にも、「三方よし」のサービスを目指す



1.規格外の野菜宅配通販「ロスヘル」スタッフと提携農家 2.ロスヘルわくわくロス野菜Lパックイメージ 3.スーパーに並ばない規格外にんじん

取り組みのきっかけ

20年前から環境問題に興味があり、環境課題を解決できる事業を立ち上げようと準備を進めてきました。地球を持続可能な惑星にするためには、2030年までに温室効果ガスを半減することが最優先です。「可能な範囲で、最短で目的を達成できる事業は何か」という視点から、自動車の排気ガスと同じような温室効果ガスの排出に繋がる「フードロス」のテーマで事業を展開しました。廃棄される規格外野菜を集め、一般的な食品売り場の価格より安い価格で宅配する「ロスヘル」という活動を行っています。

特に注力しているSDGsの取り組み

2022年5月にサービスリリースし、2022年12月現在で月間20トン以上のフードロス（企業間の取引も含む）を削減できるレベルに達しました。全国から規格外の野菜や果物を仕入れています。フードマイレージ（※）についても考慮すべき課題だと認識しています。今後は、温室効果ガスを減らせる仕組み作りを行う予定で、遅くとも2030年までに年間5万トンのフードロスを減らす、日本ナンバーワンのフードロス削減企業を目指しています。（※）食料の輸送に伴う環境への影響を表す指標。「食料の輸送量×輸送距離」で表される。

担当者の思い

代表取締役 平井 康之さん

Instagramやホームページで環境問題についての情報発信を行っています。ご覧いただいた子どもたちや家族から、「環境問題について話し合うきっかけができた」という声をいただくことが増えました。採用面でも、当社をSDGsに取り組む企業として応募いただく数が増えるなどの成果がでています。



Company Information

エクネス株式会社

住所 / 福井県鯖江市上河端町36-4-3 2F
事業内容 / 手紙代筆、オプティカル事業、コンサルティング事業、フードロス事業
創業年 / 2018年3月
代表者 / 代表取締役 平井 康之
従業員 / 70名
<https://www.exness.co.jp/>



会社ホームページ